

りすぐみだより

2023年度 9月号 尚徳福祉会 生麦保育園

残暑が続く中、体調などお変わりないでしょうか。水遊び活動で着脱が上手くなったりす組の子どもたち。「自分でできるよ!」と服を着たりズボンをはいたり、とってもスムーズです。「みてて! できるよ!」この気持ちをしっかり受け止め、自信を次の力につなげていきたいです。

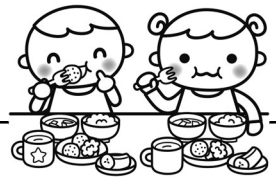


水遊び

小さな動物のおもちゃを容器に入れて「お風呂よ」とお世話をしたり、タイヤにおもちゃを浮かべ手で水を混ぜて回る様子を観察したり、スコップでバケツに水を移して「できた」と重いバケツを運んで達成感を味わったりする子。

「きゃー、つめたい!」と歓声を上げてダイナミックに水の掛け合いを楽しむ子。

四方から水を掛ける子どもたちと一緒に保育者もびしょりになって楽しみました。



子どもたちの様子

身体測定をすると、

「おおきくなって?」と、

健康カードに数字を書く保育者を覗きながら聞いたり、「おねえさんだよね!」「おにいさんだから!」と声が聞こえたりしています。身長計で測っているのは、背の高さ、体重計は足の大きさと思っている子もいて「もう、おねえさんのくつになるね」「わたしはプリンセスのくつよ」の微笑ましい会話も聞こえてきます。

給食でも食事の量が増え、意欲的に食べています。「白身魚のトマトソース」のメニューでは、見た目ですら「いらなーい」と話す子もいましたが、保育者がソースをよせて一口大に切るとパクン「あっ、おさかなだ」つぎに、ソースをパクン「トマトだ」と食が進んでいました。おもしろいですね。

お友だちが食べている姿も刺激になるようです。

トイレも「ちょっとすわってくるね」とお出かけのように張り切っている姿がみられます。子どもたちのペースに合わせて進めていけたらと思います。

お友だちが泣いていると「だいじょうぶ」と声を掛けたり、頭をなでたり、ギュッと抱きしめたりする姿も見られ嬉しく思います。反対にお友だちと同じが良い、好きなものはみんな自分のものにしたい、ストレートな気持ちからトラブルになることもあります。保育者が仲立ちしながらお互いの気持ちを伝え合い、気持ちを受け止めてもらえた安心感や、譲る、我慢することなどの経験をしています。

制作

お部屋で、うちわ制作、色水こおり遊びをしました。

うちわ制作で、のりを使いました。のりの入ったお皿に、そっと指を伸ばす子や、保育者の手をつかんで代わりにのりを付けてもらう子、手の平いっぱい塗って感触を味わう子。「べたべたね」と言いながら楽しんでいました。

ひまわりができてくると「あっ、おはな」と笑顔になり、アイスクリームは「いちごあじ」「あおいの」「まっちゃん」と好きな味を選んでいました。

色水こおりでは、はじめての事に興味津々。「つめたい」「てもあおくなった」こおりを車や電車に見立てて紙の上を走らせる子、色が混ざって変わるのを不思議そうに見ている子と楽しんでくれたようです。

お子さんの手に絵の具がついたり、お洋服に色がついていたり、驚かれたと思います。ご協力ありがとうございました。これからもたくさん遊びを一緒に楽しんでいきたいと思っています。

